

第23回千葉県障害者技能競技大会 競技内容

ビルクリーニング競技 実施要領

1 競技の課題及び方法

(1) 課 題 課題1のカーペット床清掃終了後、課題2の弾性床の課題に入ります。

課題1： カーペット床清掃

課題2： 弾性床清掃及び机上清掃

(2) 競技時間 2課題とも時間が定められています。

課題1： 7分で打ち切り

課題2： 10分で打ち切り

(3) 一般的な注意事項

- ① 使用する資機材は、用意されたもの以外は使用できません。
- ② 競技採点は、作業準備、作業動作(手順)、作業工程間違い、作業態度、作業時間の5面から審査し、加点方式によって行われます。
- ③ 作業に適した服装をしてください。
- ④ 作業開始の指示は審査員が行います。
- ⑤ 作業ごとに入退室を行う際には会釈(軽く挨拶や礼)をしてください。
- ⑥ 「始めます」「終わりました」の申告と、入退室の際の「失礼します」「失礼しました」以外は、競技中に声を出さないでください。
- ⑦ 課題1は残り2分、課題2は残り3分でそれぞれ合図を出します。

(4) 課題1：カーペット床清掃

- ① 作業面積は、 $16\text{ m}^2(4\text{ m} \times 4\text{ m})$ とし、幅木により区画します。
- ② タイルカーペット床の吸塵作業です。
- ③ 床のゴミは、シュレッダーで裁断したものを50ml程度まいたものとします。
- ④ 幅木の上には壁があるものと想定して作業を行ってください。
- ⑤ 作業場所にある机は、移動させないでください。
- ⑥ 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

(5) 課題2：弾性床清掃及び机上清掃

- ① 作業面積は、 $16\text{ m}^2(4\text{ m} \times 4\text{ m})$ とし、幅木により区画します。
- ② 床材質は、弾性床材の床面とします。(原則)
- ③ ゴミ処理・床面の掃き・拭き作業及び机上拭きの作業です。
- ④ 使用する資機材・消耗品が作業用カートに過不足なく用意されているか点検してください。

第 2 3 回千葉県障害者技能競技大会 競技内容

- ⑤ モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に自分で操作しやすい長さに調節してください。
- ⑥ 乾式モップ用クロスは競技者が作業前に取付けて準備してください。
- ⑦ 床のゴミは、「おがくず」とし 50ml 程度をまいたものとします。
- ⑧ 幅木の上には壁があるものと想定して作業を行ってください。
- ⑨ 作業場所にある机は、移動させないでください。
- ⑩ 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

(6) 資機材一覧表

① 各競技場に準備されているもの

課題 1

品 名	寸法又は規格	数量	備考
真空掃除機	ポット型 リンレイ RD エコ 2 型	1 台	
イス	パイプ式折りたたみ	1 脚	

課題 2

品 名	寸法又は規格	数量	備考
作業用カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 台	
作業標示板		1 個	
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1 本	
ラーグ (モップ房)	260g 白色	1 枚	
小型ぼうき	30 cm 幅用	1 本	
乾式モップヘッド	63 cm	1 枚	
文化ちり取り	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1 個	
タオル	無地 水拭き用 (青色) 1 枚 から拭き用 (白色) 1 枚	2 枚	
ダスタークロス	69 cm 幅の不織布	1 枚	
ビニル袋	ゴミ箱用替袋	1 枚	
イス	パイプ式折りたたみ	1 脚	

② 競技者が持参するもの

品名	寸法又は規格	数量	備考
作業着(上・下)		1 着	
作業帽又は三角巾		1 個	
作業靴		1 足	

(注意) 持参するものは、上記のものに限るが、同一種類のものを予備として持参することは差し支えない。

第23回千葉県障害者技能競技大会 競技内容

ビルクリーニング競技内容

課題1 カーペット床清掃

時間： 7分

作業仕様 1-1

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材を準備	作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。 (必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照のこと) ウォンド・吸い込み口は、事前にホースにセットしてある。	資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。	資機材の点検終了後審査員の指示に従い所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	「作業始め」の合図後、「始めます」と発声して競技を開始する。	片手をあげ、礼をする。	スタート位置にて行う。
作業準備	真空掃除機を保管場所から、作業場所の近くへ移動し、コードをはずし、プラグをコンセントに差し込み、始動点検を行う。	吸い込み口に手をあて、吸引力があるか点検する。	
入室の挨拶	入り口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」等、一礼、挨拶し、入室する。	帽子を取って挨拶する。 *三角巾の場合は着用したままでよい。
除塵 (真空掃除機)	① 掃除機を入口手前付近に置き入口を吸塵した後、室内に入り引き続き吸塵作業を行う。 ② 前進作業を基本とし、作業手順図に沿った動線で作業を行う。 ③ ゴミ箱は移動させて吸塵する。 ④ イスを手前に引き出し、机の下の吸塵を行い、元にもどす。 ⑤ 作業が終了したら掃除機を室内より出してプラグを抜く。	・ゴミを踏まないように広めに足場を確保する。 ・吸い込み口を床に強く打ちつけない。 ・本体は引きずらずに移動する。 ・プラグ部分を持ってコンセントより抜く。	ゴミはシュレッダーで裁断したものを50ml程度均等に撒いている。 本体上部取っ手を握る。 安定した姿勢で行う。

第23回千葉県障害者技能競技大会 競技内容

作業工程	作業方法	補足事項	備考
点検	指差し又は目視点検を行う。	ゴミの取り残しなどの点検を行い、あれば処置する。	点検の際に声をださないこと。
退室の挨拶	出口にて室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」等、一礼し、挨拶を行う。	声を出して挨拶する。
資機材の片付け	掃除機のコードを巻いて、掃除機を保管場所に戻す。		保管場所内に戻す。
終了挨拶	所定の位置に立ち終了申告を行う。	「終わりました」「終了しました」等の意思表示を行う。	相手コートより早く終了した場合は競技者が終了するまでその場で待機。

第 2 3 回千葉県障害者技能競技大会 競技内容

ビルクリーニング競技内容

課題 2 弾性床清掃及び机上清掃

時間：10分

作業仕様 2-1

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材を準備	作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。 (必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照のこと) ①柄の長さを調整する。 ②ダスタークロスをヘッドに装着する。 ③①、②は事前に準備する。	資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。 柄は所定の位置に立て、乾式モップヘッドはカート上部の所定の位置に置く。	資機材の点検終了後審査員の指示に従い所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	「作業始め」の合図後、「始めます」と発声して競技を開始する。	片手をあげ、礼をする。	スタート位置にて行う。
作業準備	①作業カートを保管場所から作業場所の近くへ移動する。 ②作業表示板を立てる。	所定の位置に作業表示板を立てる。	
入室の挨拶	入り口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」等一礼、挨拶し入室する。	帽子を取って挨拶する。 *三角巾の場合は着用したままでよい。
イス上げとゴミ処理 (1) イスを上げる (2) ゴミ回収 (3) ゴミ袋のセット	①作業前にイスを机の上にあげる。 ②ゴミ箱にセットされているゴミは袋ごと処理する。 ③ゴミ袋を室外においてあるカートゴミ袋に入れる。 ④カートに用意されたスペアのゴミ袋をゴミ箱にセットする。 ⑤ゴミ箱を机の上に上げる。	・机は動かさない。 ・イスは机の四隅からはみ出さないように正しくのせる。 ・ビニール袋はなるべくきれいにセットする。 ・ゴミ箱は机から、はみ出さないようにのせる。	

第23回千葉県障害者技能競技大会 競技内容

作業仕様 2-2

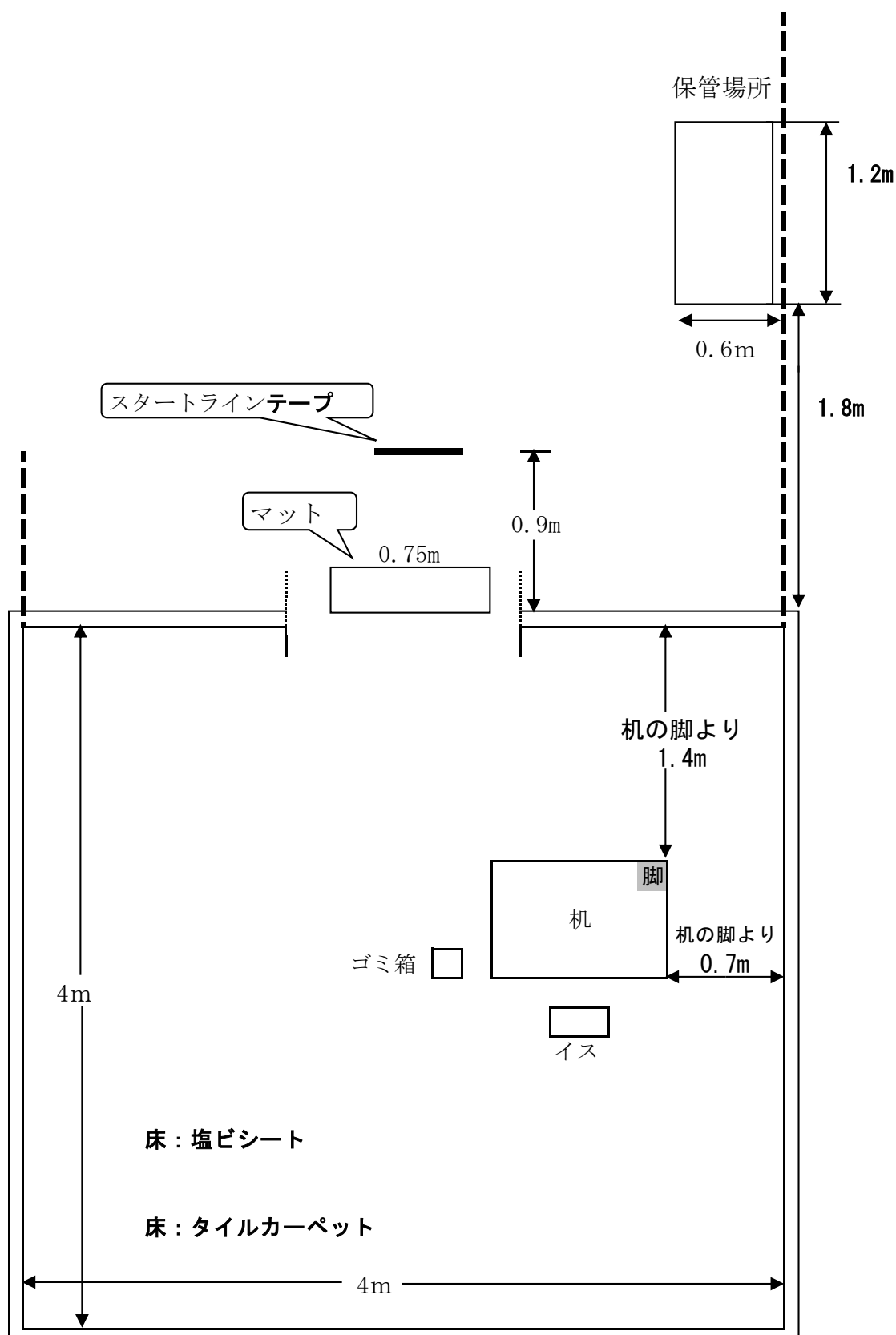
作業工程	作業方法	補足事項	備考
除塵作業 (掃き作業)	① 乾式モップヘッドを柄に装着し、入口から除塵し、室内に入る。 ② 入り口より左回りに幅木側・机の下・中央部へと順に作業を行う。 ③ 前進しながら出口に向かいゴミを1か所に集める。 ④ ヘッドをワンタッチモップ柄から外す。 ④ 使用済みのダスタークロスヘッドを外す。 ⑤ 柄とヘッドをカートに戻す。 ⑦ 小ぼうきと文化ちり取りを持って集めたゴミをとる。 ⑧ ゴミの取り残しがないか点検する。 ⑨ 小ぼうき、文化ちり取りをカートに収める。	・ゴミを踏まないように動線を確認し、前進する。 ・ヘッドは幅広い辺を先行させる（赤印をつけてある） ・ヘッドを床から離さない。 ・使用済みクロスはカートの袋の中に入れる。 ・ゴミの取り残しがあれば小ぼうきと文化ちり取りでゴミを取り残さないようにする。 ・ヘッドは、カート上部の所定の位置にスポンジ面を上にして置く。	ゴミとして、おがくずを50m1程度均等に撒いている。 ダスタークロスは、ゴミのついた面を内側にて折る。 点検の際に声を出さないこと。
水拭きをする (モップ)	① コート全体面を拭く。 ② 幅木側、机の下、中央部の順に拭く。 ③ コーナー周りとも机の足元は房糸に手を添えて拭く。 ④ モップは時々裏返し、モップ全体を使って拭く。 ⑤ モップは横拭きとし、後退しながら拭く。	・拭き残し、拭きむらのないようにする。 ・横拭きは柄の先端に親指を添えるのを基本とする。 ・幅木、机の脚部に触れないようにする。 ・拭いたところを踏まないようにする。	
ゴミ箱とイスを下ろす	安全に音を立てないようにおろす。	・足の上に落とさないように注意する。	イスは両手で持つ。

第23回千葉県障害者技能競技大会 競技内容

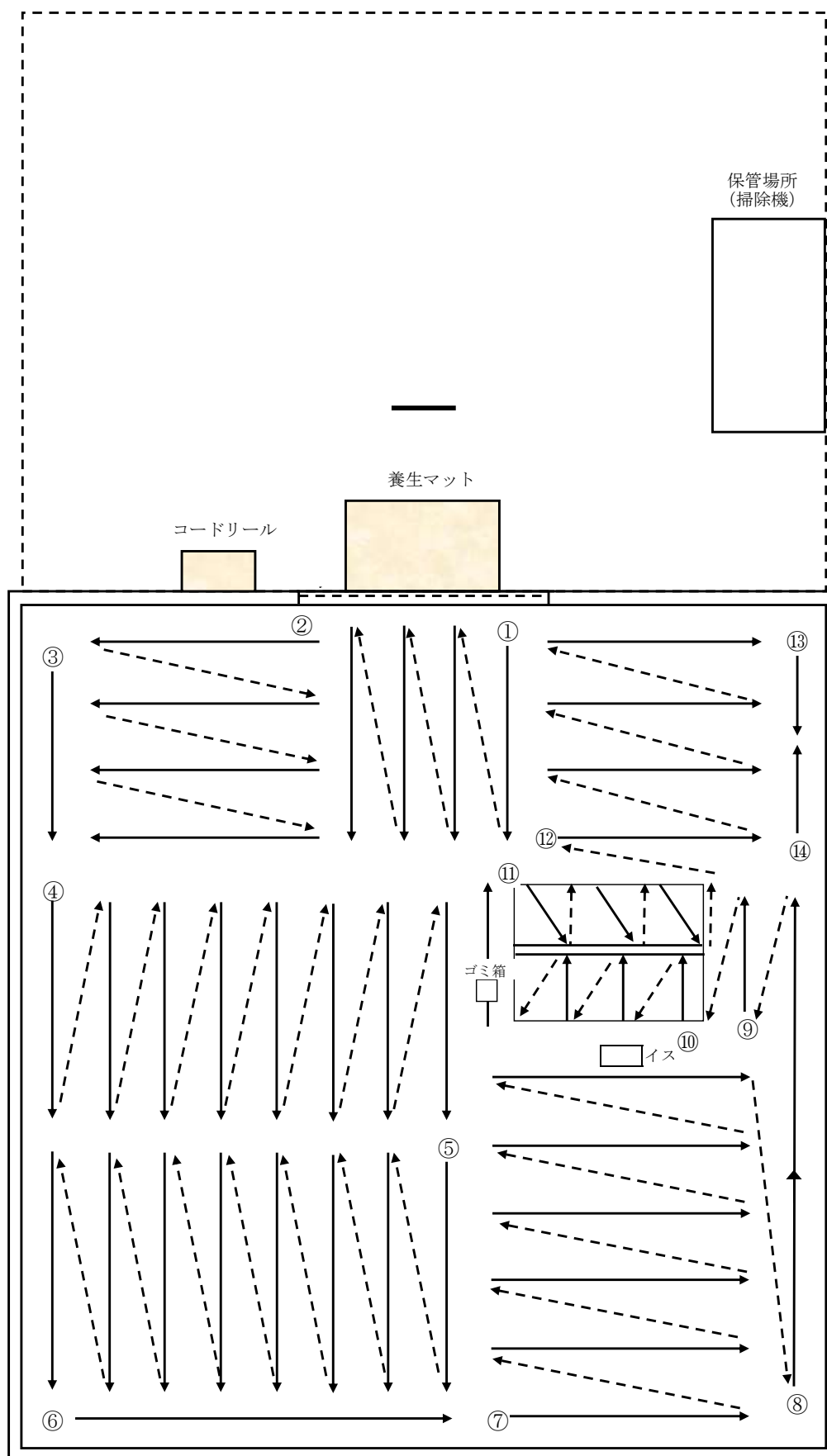
作業仕様 2-3

作業工程	作業方法	補足事項	備考
机上拭き	① 青色のタオルを八折にして持つ。 ② 机の縁を含めて、四辺から中央へ行う。 ③ タオルが汚れたらきれいな面を出して拭く。 ④ 横拭き・縦拭きを行う。 ⑤ 机の上を水拭きした後に白色のタオルでから拭きを行う。 ⑥ 水拭きと同様に作業を行う。	・拭き残し、拭きむらないようにする。	
点検	指差し又は目視点検を行う。	・資機材の忘れ、ゴミの取り残しなどの点検を行う。	点検の際に声をださないこと。
退室の挨拶	出口にて室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」等、一礼し、挨拶を行う。	声を出して挨拶する。
資機材の片付け	作業標示板を作業カートに収納し、作業カートを保管場所に戻す。		保管場所枠内に収める。
終了挨拶	所定の位置に立ち終了申告を行う。	・「終わりました」「終了しました」等の意思表示を行う。	相手コートより早く終了した場合は競技者が終了するまでその場で待機。

標準配置図(モデル)



カーペット床作業手順



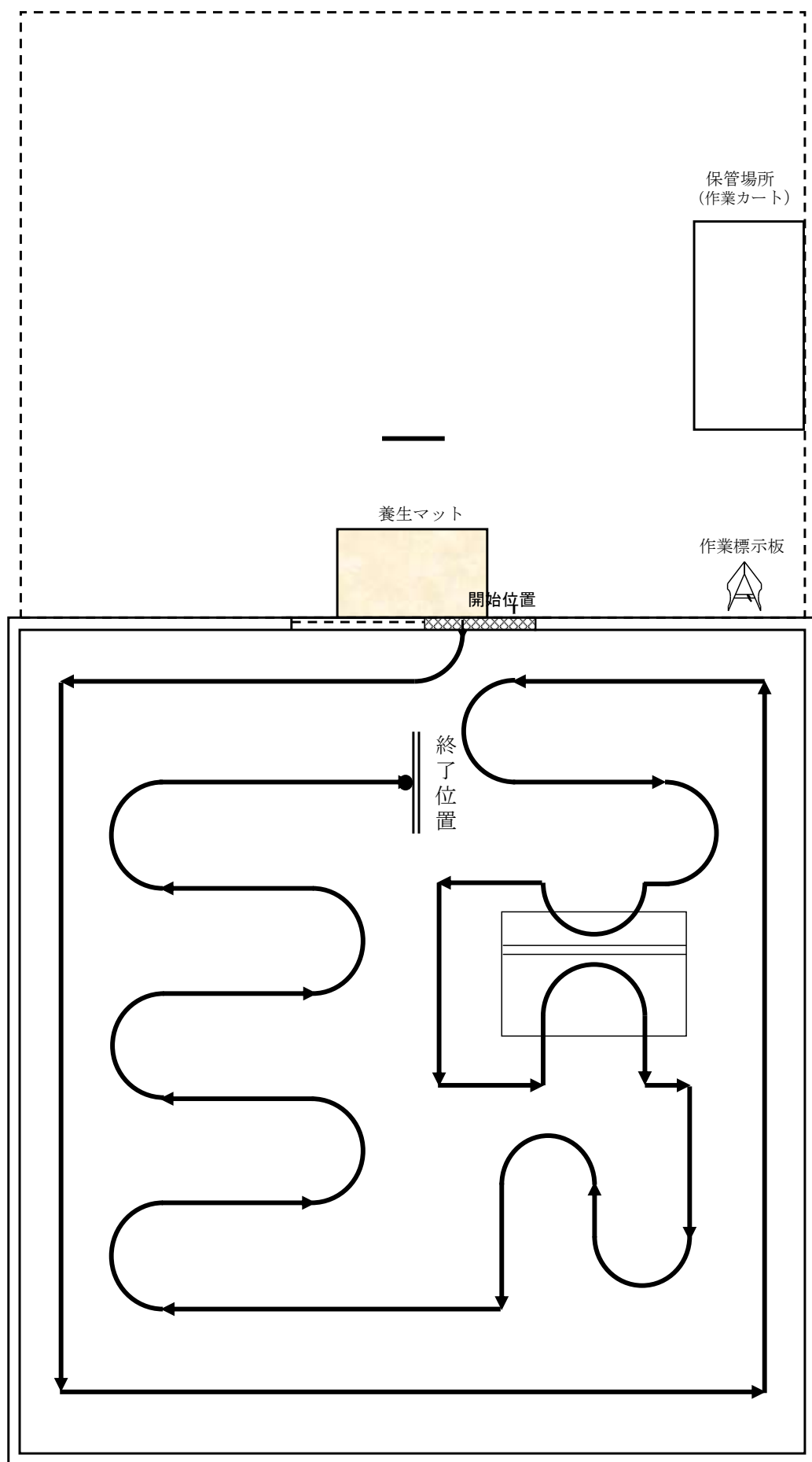
注：作業の進行①-⑭

吸引回数を入れたものではありません。

各区画において、一往復での繰り返し作業が難しい場合は、真ん中で二度に分けても構いません。

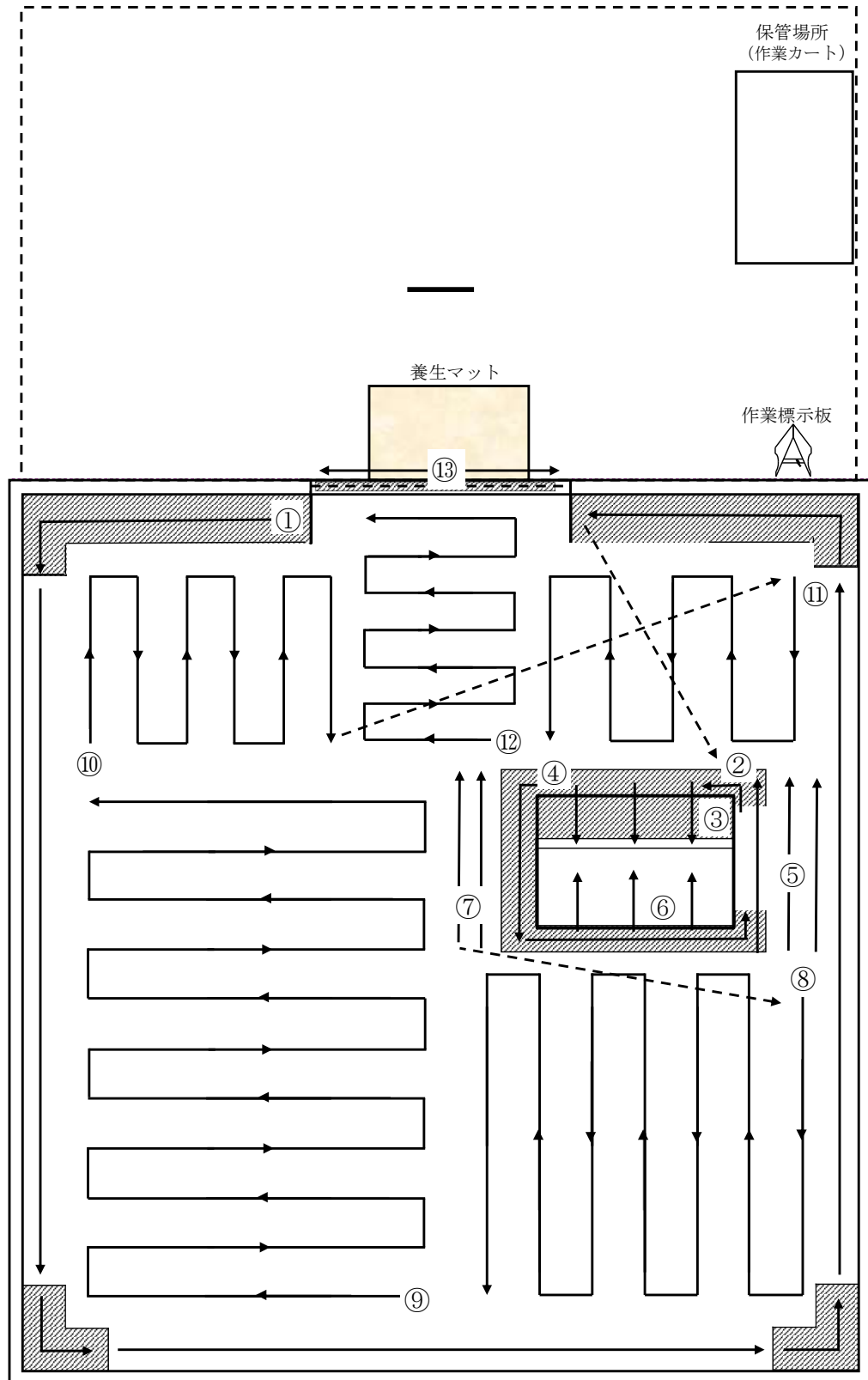
ゴミ箱の下を作業する際は、ゴミ箱を移動し、確実に吸引する。

乾式モップ作業手順



注：動線上の折り返し回数は指示回数を示すものではありません。（例）

水拭きモップ作業手順

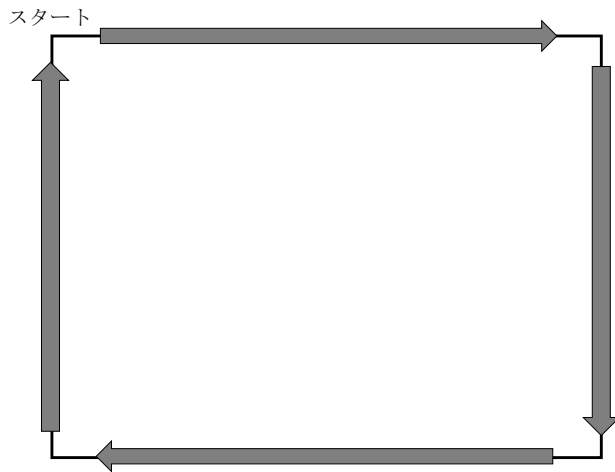


注：■印は手を添える箇所を示す。 *③は縦拭き・横拭き どちらでも良い。

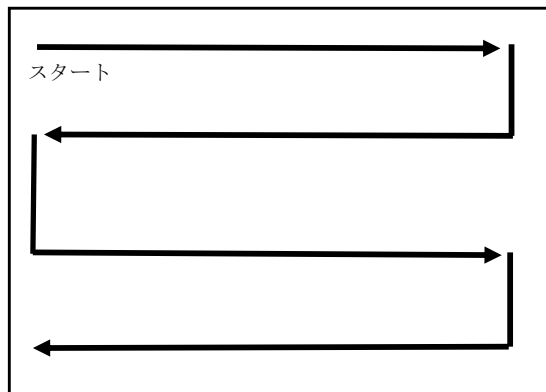
*図面各スパンにおける動線上の折り返し回数は指示回数ではありません。(例)

- ①巾木側を1周すること。(コーナーは手を添えます)
- ②～④机の足回りを拭く流れの中で(手を添えて)、③で机の下(手前半分)を拭く。
- ⑤立ち上がり、机の横を拭き、⑥で机の下(半分)⑦で机の横を拭く
- ⑧～⑫スパンを決めて拭き上げる。(モップの房を適宜裏返すこと)
- ⑬退室時、入口部分は手を添えて拭きあげる。

机上拭き作業手順

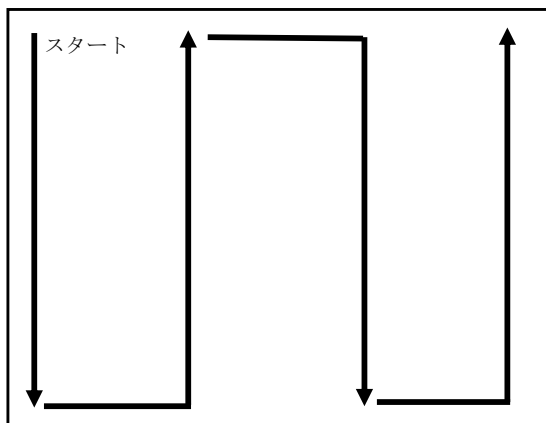


① 四角く、縁にそって拭きます。
(その際、机の縁も同時に拭きます。)



② 横拭き：中面を左右に拭きます。
このとき、拭きムラの無いように注意しながら矩形に拭いていきます。

左図 往復回数は例。



③ 縦拭き：中面を上下に拭きます。
このとき、拭きムラの無いように注意しながら矩形に拭いていきます。

左図 往復回数は例。

④ から拭きも同じように行います。

注：作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。左手で持つ人の場合は、左右を逆として構いません。